

2023年6月23日

学校法人三幸学園  
千葉リゾート&スポーツ専門学校  
校長 高橋 一博 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 葛巻 健太郎

### 学校関係者評価委員会実施報告

2022年度 学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

##### 1 学校関係者評価委員

- ① 葛巻 健太郎 (株式会社リフレッシュ 取締役)
- ② 三戸 貴史 (ネイス株式会社 ゼネラルマネージャー) 当日欠席
- ③ 高田 恵 (ネイス株式会社 人事部)
- ④ 富永 隆幸 (飛鳥未来高等学校千葉キャンパス 教頭)

##### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

2023年6月23日(会場 千葉リゾート&スポーツ専門学校 2号館303教室)

##### 3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

# 2022年度 学校法人 三幸学園 千葉リゾートアンドスポーツ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 渡邊 慎也

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 葛巻 健太郎

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

学校運営では生徒の安全、安心を最優先に考え、学園のミッション・ビジョンの実現とスポーツ分野のビジョンや教育理念、そして人材育成像の実現に向けた取り組みを実施。

- ・生徒満足度(授業、行事、実習、就職)の向上、愛校心(帰属意識)を持った生徒の育成。
- ・学習習熟度強化(わかりやすい、興味を持たせる授業の工夫)からの資格取得率の向上。
- ・「挨拶」「掃除」「主体性」が当たり前できるように意志の醸成から行動変容できるよう指導。

#### 【取り組み】

- ・分かりやすい授業の実施(資格取得率の向上)。
- ・講師、関係各所とのコミュニケーション・連携強化。
- ・インプットした知識、技術をアウトプットする環境を整える。

#### 【振り返り】

- ・アクティブラーニングやポケ模型(アプリ)などを活用して、わかりやすく興味のある授業を展開できたが、資格取得との連動ができていなかった。
- ・資格の必要性や資格取得後の活用などのメリットをしっかりと理解させる必要がある。
- ・全教職員会議で伝えた方針が継続的に実施できていなかった。
- ・SDC(三幸学園の全国スポーツ校スポーツイベント)やボランティア活動としてアウトプットする機会は設けることができた。
- ・上記に加えインターンシップ実習の受入先を増やし、スポーツ(健康)業界での実際の現場での体験を増やす。

### ② 学校関係者評価委員コメント

- ・飛鳥未来高校ではICTが進んでいるので、生徒一人1台タブレットを用いて授業をしている。
- ・機器を使いながらわかりやすい授業の工夫をしている。ビジュアルで見られる画像や動画があるので生徒は魅力的に感じていると思うので可能であれば導入を検討してはどうか(富永委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)。

- ・時代に合わせて、メールなどではなくLINEで就職についてのやり取りをしている。文章についてもメールの文章ではなく手短にやり取りができるメリットがある(葛巻委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)。
- ・選考について資格を持っているから有利になることはない。幼児体育の教室を運営している会社なので、資格の有無だけではなく人柄を中心に選考している。ただし、資格はもちろんアピールにはなるので、資格を取得することは大切(高田委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### ① 課題

- ・オンデマンドでの入学前保護者説明会の内容をより充実させる（スポーツ業界の動向やニーズ、求められる人材など）。
- ・挨拶や清掃、インターンシップでのコミュニケーションなどが課題としてあげられる。

#### ② 今後の改善方策

- ・保護者説明会による保護者への情報共有に加え、進級時にも実施。
- ・保護者宛の郵送物のペーパーレス化の実施（対面または電話での対応も状況に応じて実施）。
- ・業界の即戦力となるように生徒指導やインターンシップ実習を通して、強化していく。

#### ③ 特記事項

- ・学校目標、生徒指導におけるの心得を視覚化し、全教職員への浸透を図っている。
- ・入学後、生徒面談を実施し、気になる生徒の保護者との情報共有を実施し、信頼関係を構築している。

#### ④ 学校関係者評価委員コメント

- ・採用の際には、「笑顔」や「挨拶」「コミュニケーション能力」を重視している。人間性を重視して採用しているので、育成人材像は間違っていないと思う（葛巻委員：スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について）。
- ・入学する際は高校生と保護者にお越しいただいて説明をしている。保護者への説明は月に1回オンライン（SankoGate）で共有をしている。保護者にもオンライン（SankoGate）のアカウントを取得してコミュニケーションツールの一つとして活用してはどうか（富永委員：スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について）。
- ・子どもたちの運動している様子を見たいと来館を希望する保護者が多いが、紙媒体・アプリで状況を共有することもある。あえて紙媒体を利用するケースもあり、対応はケースにより異なる（高田委員：スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について）。

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### ① 課題

- ・様々なシステムを利用しての業務の効率化。
- ・オンライン、オンデマンド授業の活用。

### ② 今後の改善方策

- ・導入した情報システムツールの活用頻度を上げる。
- ・活用しているシステムが、どのように活かせるのかを定期的に職員会議等の場で検証していく。

### ③ 特記事項

- ・年3回の全教職員会議を実施し、運営方針の浸透・情報共有を行っている。

### ③ 学校関係者評価委員コメント

- ・昨年度、システムの担当者が採用して業務の効率化を図っている。ただし、新しいシステムに慣れることに時間がかかっているのが現状（高田委員：スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について）。

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

- ・多様化する生徒に対してのコミュニケーション能力、問題解決力向上は課題である。
- ・教育に関する統一のマニュアルは存在しているが各担任による指導の個人差が見られ、若手教職員の育成は課題である。
- ・社会人育成の場としてコミュニケーション能力、礼儀、言葉遣いなど人間力を醸成させる指導の向上が必要。

#### ② 今後の改善方策

- ・目指す資格において全教職員でチームを編成し、指導状況の共有や指導の統一を図る。
- ・統一した教育の質を担保できるよう、職員会議や研修で認識を統一する。
- ・様々なデータから、学校内・個々における課題を改善させるため有効活用する。
- ・生徒、教職員の業界理解醸成のため、現場見学の機会を設定していく。

#### ③ 特記事項

- ・人材育成としてOJT研修を定期的実施している。
- ・能動的学習を進めていく中で、アクティブラーニングを取り入れた授業を強化している。
- ・2022年度より、授業習熟度向上を目的とした授業ツール(ポケ模型というアプリ)を導入。

#### ④ 学校関係者評価委員コメント

・仕事の基礎になっていることは三幸学園の理念や働く理念だと思うが、最近の職員は自分の働きたい働き方・やりたいことがベースになっている。今後は三幸学園の企業理念や方針の理解を深めていき、より今の生徒に合った対応が必要になってくる。(富永委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)。

・リラクゼーション業界は、リラクゼーションがやりたいと思って仕事をする人が多かった。現在はリラクゼーション業界に魅力を感じて就職を希望している人が減っている。また、仕事に対する貪欲さが減っており、与えられるまで待つ人が最近の違いと感じている。

新入職員研修は1か月ほど実施をしているが、今後は自主的に考え、意欲を持っている人が望まれる。(葛巻委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)。

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

- ・卒業後を見据えたキャリア教育の醸成、企業が求めている人材を輩出できる教育活動が必要。
- ・就職試験に臨む生徒においては、コロナ禍での就職活動を意識し、オンライン面接、LINEやメールで企業様とのやりとりの事前指導が必要。
- ・退学率低減に向け、早期のタイミングで面談を実施、遅刻・欠席者への細めな連絡を実施したが、一人一人にあった個別対応が足りないという点が課題である。

##### ② 今後の改善方策

- ・就職活動の流れはもちろんのこと、業界で働くイメージを十分湧かせる必要があるため現場体験などを実施。
- ・教職員の業界研究、企業研究を行い、生徒への情報提供を実施。
- ・企業様との関係性を深め、学校教育にご理解をいただき関係性を築き、卒業生情報はもちろん早期離職とならぬよう連携を強化していく。
- ・卒業生支援(リカレント教育)の場を提供し、教職員の学びの場としても設定していく。
- ・退学率低減に向けては、担任を中心に生徒の変化にいち早く対応できるよう面談を実施。また、保護者との連携も併せて実施する。

##### ③ 特記事項

- ・資格取得率向上に向けては、関連する教科担当が連携をとり、多くの教員からアプローチしている。また、集中講義を定期的実施するなどの取組みを行っている。
- ・全国姉妹校との情報共有と合格率向上のために全国模試の実施。

##### ④ 学校関係者評価委員コメント

- ・内定者研修は11月に実施をして、現場のことだけではなくお金の話しをしている。働いている職員の給料はお客様からいただいていることを伝える。そうすると仕事への取り組みや入会率の大事さが伝わると思う(高田委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)。
- ・学校で課題と感じているコミュニケーション能力に加えて、電話が取れない人が多い。家に電話がないので(各自のスマートフォンのみ)電話の出方を知らないことも多いと感じる(葛巻委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)。
- ・インターンシップなどで来る生徒は緊張感を持って職場に来ているので、社会に慣れさせるためにも職場体験などで外部実習に出すことが大切だと思う。(葛巻委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)。

## (5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

### ① 課題

- ・卒業生への就労状況の定期的なヒアリングを実施し、キャリア支援や中途退学者への支援体制も検討していく必要がある。
- ・保護者への情報共有と協力体制の構築、情報共有ツールとしての SankoGate の周知・浸透と定期的な配信が課題である。

### ② 今後の改善方策

- ・在校生向けにOB、OG講話の開催を検討。
- ・担任との定期的な面談の実施（精神的に問題を抱えている生徒が多いので心のサポートも必要）。
- ・卒業生向けに講習会・勉強会の開催を検討する。
- ・タイムリーな保護者への連絡を実施。

### ③ 特記事項

- ・カウンセラーの設置、学生の希望により定期的に話をすることができる環境がある。
- ・学生の経済的側面に対する支援体制として、奨学金や各種教育ローンを設けている。
- ・高校との連携では、職業紹介のガイダンス等で協力させていただいている。
- ・退学者に対するアンケートを実施し、今後の学校運営に役立っている。

### ④ 学校関係者評価委員コメント

- ・メンタルケアについて、入社する時には適性検査を実施し、その人の状況を事前に把握している。入職して半年くらいのタイミングで面談を行う。年に1回必ず面談をするようにしている。面談の効果もあって、実際の退職率減少に繋がっている。（葛巻委員：スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について）。

・メンター制度を実施している。

業務とは全く関係のない人が面談を行い、WEBで30分間面談を実施する。普段関わりの少ない人が行うことによって早期に危険な状況を察知できる。(高田委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)。

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

### ① 課題

- ・災害を想定した避難訓練の実施。ならびに、安全管理の観点や災害の意識強化が課題である。
- ・地震が多い地域のため、備蓄品や避難グッズなどの準備が必要。
- ・必要に応じて老朽化、不具合のある施設、設備、備品に関しては、早急に修理する必要がある。
- ・生徒の職業イメージ醸成に向けた学外実習（現場体験等）、企業連携が課題である。

### ② 今後の改善方策

- ・生徒、教職員に対する避難訓練を実施し、安全面への意識を高めていく。
- ・避難経路の確保については常日頃から点検を行い、ホームルームにて生徒へ避難訓練の意義や必要性を伝達する。
- ・各施設、設備の定期点検を実施する。
- ・業界講話や現場体験について、産学連携を強化していく。

### ③ 特記事項

- ・防災マニュアルの定期的確認と周知。

### ④ 学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

- ・学生募集活動は適切に行っているが、卒業後の就職先について具体的なイメージを伝えていく必要がある。
- ・18歳人口の減少に伴い、スポーツ業界・健康産業について興味をもってもらうような仕掛けが必要。
- ・千葉県在住、在学の高校生の積極的な募集活動が必要。

### ② 今後の改善方策

- ・首都圏地区の学生募集をサポートする首都圏広報室と情報を随時共有し、本校の強み、他校との差別化を明確に打ち出す。
- ・スポーツ、健康産業に関わる仕事を知ってもらい、業界の魅力を感じてもらう工夫を実施。

### ③ 特記事項

- ・学納金は、教育研究費、人件費、施設管理費などを算出基盤としている。
- ・学納金の決定に際しては、他校の学費水準も把握した上で決定している。
- ・高校進路指導室への訪問を行っている。

### ④ 学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

・なし

#### 【予算・収支計画】

・なし

#### 【会計監査】

・なし

#### 【財務情報の公開】

・なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

今期は第2次中期計画(2018 年度～2022 年度)の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)を公開する予定である。

#### 【財務情報の公開】

・なし

### ③ 特記事項

・特になし

### ④ 学校関係者評価委員コメント

・特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

- ・個人情報の取り扱いやコンプライアンスの遵守について継続して徹底していく必要がある。
- ・広報等でのSNSの発信内容には十分留意する必要がある。

### ② 今後の改善方策

- ・現時点で問題になるようなことは起きていないが、継続して啓蒙活動を行う必要がある。

### ③ 特記事項

- ・特になし

### ④ 学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

### ① 課題

- ・地域や一般の方に向けた公開講座が少ない。
- ・地域のこと、地域の課題を理解できていない。

### ② 今後の改善方策

- ・生徒の教育効果にもつながり地域の方々にとっても有益な講座や教育訓練を企画していく。
- ・学校にある施設を利用した健康運動教室や体力測定など地域のニーズに合わせた取り組みが必要。

### ③ 特記事項

- ・特になし

### ④ 学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

## (11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

### ① 課題

・現在、留学生の在籍者はいないが、受入れの際の手続き、授業運営、学校運営シミュレーションが必要。

### ② 今後の改善方策

- ・留学生が入学した際の、受入チェック体制(手続き方法、書類等の抜け漏れがないように)を準備しておく。
- ・不明な点をSANKO留学生サポートセンターに事前に確認しておく。

### ③ 特記事項

・特になし

### ④ 学校関係者評価委員コメント

・特になし

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・高校は本来、社会に送り出すことが役割になっているが、学校の中を見て仕事をしてしまう。専門学校の状況を聞きながら成長させていきたいと思う。(富永委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)。

・学校の取り組みを聞いて有意義な時間になった。専門学校では退学率が課題になっていると聞く。現場として生徒が活躍できる環境を作り上げていきたいと思う。(葛巻委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)。

・学校について様々な取り組みをしていることを見ることができた。今後も就職メインにはなるが、様々なことで協力していきたい。(高田委員:スポーツトレーナー科・スポーツインストラクター科について)。